

もいのにぎわい通信

2025年3月22日 定例活動報告

日時：2025年3月22日（土）9：00～17：30

場所：小山町 観音地

天候：晴れ 気温 11℃～20℃ 湿度 55% 風向 南西風速 4.8m/s

参加者：50人：子ども6人、大人44人（内土地改良区0人）

■活動

9:00 集合

9:30 作業開始

10:30 休憩

12:00 後片づけ・午前の部解散

13:00 井戸掘り作業

17:30 片付け・解散

■活動報告

今回は若い方の参加が目立ちました。特に一般参加の高校生が4名、安房高校生物部が11名と高校生が合計15名、中学生が2名、こんなに若い人が環境活動に join してくれるのなら日本の未来も明るいと思いました。

お集まりいただいたボランティアの方々には、クリのイガの片づけ、抜けて散らばっている支柱の片づけ、枝打ちで払い落した枝の片づけなどを担当してもらいました。刈払機を担当していただいた方もいましたし、入り口付近の短管パイプの引き抜き及び進入路脇の車の通行障害となっている土手の整地作業などもご担当いただいた方もいらっしゃいました。休憩の後には栽培しているシイタケが丁度よく育っており、採取して皆さんのお土産にしてもらいました。またキイチゴ3本、ハヤトウリ3本、フジバカマ10本を植えました。池の水辺にはセキショウ8株、キチジョウソウ2株を植えました。とても暖かく活動には良い気候だったのですが、風がつよく花粉症の人間にはつらい日中でした。皆さまお疲れ様でした。

一方、井戸掘りはいよいよ佳境で、本日はポンプの取り付けという段階に入りました。取り付けには事前にポンプを受け取ってなければなりません、その受け取りも先週の天候不順で恐ろしく大変でした。3月19日というのに雪やら霰やら降る中を、小山町の現地で西濃運輸のトラックから60キロのポンプのコンクリート台座とポンプ本体、接手パイプのセットを受け取りました。立会は星野夫婦、金子、金井の4人でした。19日の寒さとは打って変わり、ぽかぽかの日に安齋先生始め11人の安房高校生徒が来てくれてポンプの取り付け作業に入りました。井戸枠をさらに打ち込んで沈め井戸枠の周りに土を入れて固定していきます。こうやって書くと簡単ですが、土を運んでくるのも入れるのも全て手作業ですからたいへんです。いよいよ取水器にパイプをつないで15m下の水面まで降ろしていきます。もし何かの繋がりがまずくて中に落としたり、多分回収は難しく今までの苦労が全て水の泡になる可能性もありますから、補助ロープが付けられているものの慎重に慎重を重ねます。すべてのパーツを組み立てポンプの漕ぎ手までつけて、いよいよトライすると水

をポンプアップできません。砂を吸い込んでしまったのか、底面と取水口の深さ調節だけで済むのか、またまた大きな壁にぶつかったのかと心配しましたが、再度ばらしてポンプの高さを調整して組み立て直したおかげで、4時ごろのトライでは遂に水が出ました。ポンプアップを重ねるうちにかなりの量が出るようになり、その場にいるみんながポンプアップの漕ぎ手を経験させてもらうことができました。つまり、安齋先生を初めとして安房高校の生徒さん11人、星野夫妻、金井、金子、傳さん、合わせて16人が連続で汲みだしても水が涸れなかったということであり十分な水がありそうだということです。次回には祝賀パーティーみたいな事ができたらと思います。

調べてみるとプロジェクトのスタートは2023年の2月で、まる2年がかかってしまいました。掘削機部分が突き刺さって抜けなくなったり、落下したりで3度は場所を移しての掘り直しになったと思います。それでも投げ出さなかった安房高校の皆さんの粘りに感謝です。

(記録：金井章男)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、4月26日(土)(都合により雨天順延はありません)除草作業、クズの蔓切、土嚢積み、苗木支柱のポール立て、山菜採り、井戸掘り作業を行う予定です。尚、井戸掘り以外は12時までとします。



集合写真



受付



作業前説明



クリのイガの片付け作業





不要単管パイプの回収



枯れ枝の片付け作業





草刈作業



10年以上放置していた場所の草刈



シイタケの収穫作業



種駒を接種して2年目のほだ木から出たシイタケは春の恵みです。



秘密基地作り再開



解散



井戸ポンプ敷設作業



作業手順を確認しながら細心の注意を払いながらの作業



組み立てポンプの漕ぎ手の取り付け

回りの穴の埋め戻し作業